

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 芸術 ） 科目：（ 美術Ⅰ ）

単位数：（ 2 ）単位

対象：（ 第 1 学年 A 科～ G 科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ 高校生の美術 1（日本文教出版）、 ）

使用教材：（ 鉛筆、画用紙、木製パネル、アクリル絵の具、筆、ペーパーパレット、石粉粘土など ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	ガイダンス デッサン基礎 明度スケール	授業に関する注意事項を理解する。 今後の授業スケジュールと課題を確認する。 「美術とは何か」美術の学びの意味や広がりについて考え、理解を深める。 鉛筆の削り方・特性・技法を学び、明度スケールの作成を通して、デッサン基礎を身に付ける。陰影・反射光について理解する。	【知識・技能】 ●鉛筆の扱い方・明暗の段階の作り方・陰影・反射光・ハッチング技法・水張りの手順を理解している。形や色、質感などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに、身近なものの美しさやおもしろさを自分のイメージで捉えることを理解している。 ○対象をよく観察し、光の向き・陰影・反射光・質感・空間を意識し描画している。材料や用具の特性を生かし、創意工夫しながら主題を追求している。 【思考・判断・表現】 ●自分の意図を心豊かに表現するために構想を練り、構図を工夫している。	16
5 月	水張り デッサン（導入）	木製パネルに画用紙を水張りする手法を学ぶ。 手と紙コップのデッサンに取り組む。対象を深く見つめ、対象の特徴や質感を捉え、配置や構図を工夫して表現する。	○対象をよく観察し、光の向き・陰影・反射光・質感・空間を意識し描画している。材料や用具の特性を生かし、創意工夫しながら主題を追求している。 【思考・判断・表現】 ●自分の意図を心豊かに表現するために構想を練り、構図を工夫している。	32
6 月	デッサン（描画）	観察力と描写力を養う。 材料や用具の特性を生かし、陰影や質感の表現を自分なりに追求しながら心豊かに表現する。	○友達作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図・工夫などについて、見方や感じ方を広げている。 【主体的に取り組む態度】 ●説明をよく聞いている。提出物を提出している。作品が提出日に完成している。美術の創造活動の喜びを味わいながら、デッサン表現について自ら学び、主体的に学習活動に取り組んでいる。	32
7 月	デッサン（仕上げ） デッサン（講評・鑑賞）	細部を描き込み、より完成度の高い作品を目指す。 作品発表と鑑賞を通して、お互いの作品のよさや美しさに気付く。作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。	○友達作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図・工夫などについて、見方や感じ方を広げている。 【主体的に取り組む態度】 ●説明をよく聞いている。提出物を提出している。作品が提出日に完成している。美術の創造活動の喜びを味わいながら、デッサン表現について自ら学び、主体的に学習活動に取り組んでいる。	24
8 月			【知識・技能】 ●絵の具の特性・石粉粘土の特性・塑像技法と制作手順を理解している。形や色、質感などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに、身近なものの美しさやおもしろさを全体のイメージで捉えることを理解している。 ○材料や用具の特性を生かし、創意工夫しながら主題を追求している。	32
9 月	絵の具の特性 粘土塑造（導入） 粘土塑造（塑像）	顔料と展色材、絵の具の種類について学びながら、アクリル絵の具の特性と使い方を身に付ける。 野菜の模刻に取り組む。石粉粘土の特性と使い方を学ぶ。制作手順を理解する。野菜を様々な角度から観察し、特徴を捉えスケッチする。芯材を作り、石粉粘土で粗付けする。	【思考・判断・表現】 ●感じ取った対象の特徴などから主題を生み出し、自然物の調和のとれた美しさを考え、表現の構想を練っている。 ○友達作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図・工夫などについて、見方や感じ方を広げている。 【主体的に取り組む態度】 ●説明をよく聞いている。提出物を提出している。作品が提出日に完成している。美術の創造活動の喜びを味わいながら、彫刻表現について自ら学び、主体的に学習活動に取り組んでいる。	24
10 月	粘土塑造（塑像） 粘土塑造（塑像仕上げ）	対象の質感、量感を意識しながら、石粉粘土で肉付けする。 対象が持つ造形の特徴や美しさを捉える。 彫刻刀やニードルで細部を彫り、紙やすりで表面を整える。 制作手順を考え見通しをもって取り組む。	○友達作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図・工夫などについて、見方や感じ方を広げている。 【主体的に取り組む態度】 ●説明をよく聞いている。提出物を提出している。作品が提出日に完成している。美術の創造活動の喜びを味わいながら、彫刻表現について自ら学び、主体的に学習活動に取り組んでいる。	32
11 月	粘土塑造（着色） 粘土塑造（着色仕上げ）	対象が持つ色彩の特徴や美しさを捉える。 材料や用具の特性を生かし、創意工夫しながら主題を追求する。 制作手順を考え見通しをもって取り組む。	○友達作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図・工夫などについて、見方や感じ方を広げている。 【主体的に取り組む態度】 ●説明をよく聞いている。提出物を提出している。作品が提出日に完成している。美術の創造活動の喜びを味わいながら、彫刻表現について自ら学び、主体的に学習活動に取り組んでいる。	24
12 月	粘土塑造（講評・鑑賞）	作品発表と鑑賞を通して、お互いの作品のよさや美しさや味わう。作者の意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。	【知識・技能】 ●色彩基礎、コラージュ技法と制作手順を理解している。形や色、質感などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに、身近なものの美しさやおもしろさを自分のイメージで捉えることを理解している。 ○材料や用具の特性を生かし、創意工夫しながら主題を追求している。	16
1 月	色彩基礎 水張り コラージュ（導入）	色彩の基礎知識を身に付ける。 木製パネルに水張りする。 動物をテーマとしたコラージュ表現に取り組む。コラージュ技法への理解を深め、構想を練る。構図を工夫し、下絵を作成する。色彩を工夫し、色紙を作成する。	【思考・判断・表現】 ●感じ取った対象の特徴などから主題を生み出し、自分の意図を心豊かに表現するために構想を練り、構図を工夫している。 ○友達作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図・工夫などについて、見方や感じ方を広げている。 【主体的に取り組む態度】 ●説明をよく聞いている。提出物を提出している。作品が提出日に完成している。美術の創造活動の喜びを味わいながら、コラージュ表現について自ら学び、主体的に学習活動に取り組んでいる。	24
2 月	コラージュ（制作） コラージュ（仕上げ）	作成した色紙を用いてコラージュする。創造活動の喜びを味わい、自分の意図に応じた表現方法を追求しながら独創的に表現する。 細部まで丁寧に作り込む。 制作手順を考え見通しをもって取り組む。	○友達作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図・工夫などについて、見方や感じ方を広げている。 【主体的に取り組む態度】 ●説明をよく聞いている。提出物を提出している。作品が提出日に完成している。美術の創造活動の喜びを味わいながら、コラージュ表現について自ら学び、主体的に学習活動に取り組んでいる。	24
3 月	コラージュ（講評・鑑賞） まとめ	作品発表と鑑賞を通じて、お互いの作品のよさや美しさや味わう。作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。 美術を通して学んだこと、自分が出来るようになったことなど、1年間を振り返る。	○友達作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図・工夫などについて、見方や感じ方を広げている。 【主体的に取り組む態度】 ●説明をよく聞いている。提出物を提出している。作品が提出日に完成している。美術の創造活動の喜びを味わいながら、コラージュ表現について自ら学び、主体的に学習活動に取り組んでいる。	24

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 芸術 ） 科目：（ 美術Ⅱ ）
 対象：（ 第3学年 A科～G科 選択クラス ）
 教科担当者：

単位数：（2）単位

使用教科書：（ 高校生の美術2（日本文教出版） ）
 使用教材：（ 鉛筆、画用紙、木製パネル、スクラッチボード、ニードル、ケント紙、ミリペンなど ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス デッサン基礎 明度スケール	授業に関する注意事項を理解する。 今後の授業スケジュールと課題を確認する。 「美術とは何か」美術の学びの意味や広がりについて考え、理解を深める。 鉛筆の削り方・特性・技法を学び、明度スケールの作成を通して、デッサン基礎を身に付ける。陰影・反射光について理解する。	○説明をよく聞くことができたか。 ○鉛筆の扱い方・明暗の段階の作り方を理解しているか。 ○主体的に取り組むことができたか。 ○提出物を出せたか。	16
5月	静物デッサン（導入）	幾何形体の石膏、リボン、紙ナプキンの3点を構成し、デッサンに取り組む。 対象を深く見つめ、対象の特徴や質感を捉え、配置や構図を工夫して表現する。	○陰影・反射光・ハッチング技法を理解しているか。 ○基礎的な観察力・描画力を身に付けているか。 ○水張りの手順を理解しているか。 ○自分の意図を表現するために構図を工夫することができたか。	32
6月	静物デッサン（描画）	観察力と描写力を養う。 材料や用具の特性を生かし、陰影や質感の表現を自分なりに追求しながら心豊かに表現する。	○対象をよく観察し、描画しているか。 ○主体的に取り組むことができたか。 ○光の向き・陰影・反射光・質感を意識し描画しているか。	32
7月	静物デッサン（仕上げ） 静物デッサン（講評・鑑賞）	細部を描き込み、より完成度の高い作品を目指す。 作品発表と鑑賞を通して、お互いの作品のよさや美しさに気付く。作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。	○自分なりの表現の工夫がみられるか。 ○作品が提出日に完成しているか。 ○制作を振り返り学習を反復できたか。 ○他者の作品の良さに気付くことができたか。	24
8月			○説明をよく聞くことができたか。 ○石粉粘土の特性・制作手順を理解しているか。 ○対象をよく観察し、塑像しているか。 ○制作時間を意識し、計画的に取り組むことができたか。	
9月	水張り 静物デッサン（導入）	木製パネルに画用紙を水張りする。 自分の手をモチーフとしテーマに沿って構成し、デッサンに取り組む。身近なものがもつ美しさやよさに関心をもち深く見つめ、感じ取った特徴や、自分の思いなどをもとに主題を生み出す。対象の特徴や質感を捉え、配置や構図を工夫して表現する。	○対象の造形の特徴を捉えているか。 ○アクリル絵の具の特性を理解しているか。 ○提出物を出せたか。 ○対象の色彩の特徴を捉えているか。 ○自分なりの表現の工夫がみられるか。	32
10月	静物デッサン（描画）	材料や用具の特性を生かし、陰影や質感の表現を自分なりに追求しながら心豊かに表現する。 制作手順を考え見通しをもって取り組む。	○作品が提出日に完成しているか。 ○制作を振り返り学習を反復できたか。 ○他者の作品の良さに気付くことができたか。 ○主体的に取り組むことができたか。	24
11月	静物デッサン（描画） 静物デッサン（仕上げ）	主題をもとに、形や構図などの構想を練り、工夫して制作する。 細部を描き込み、より完成度の高い作品を目指す。	○説明をよく聞くことができたか。 ○色彩基礎を理解しているか。 ○提出物を出せたか。 ○丁寧に水張りできたか。 ○説明をよく聞くことができたか。 ○コラーージュ技法と手順を理解しているか。 ○自分の意図を表現するために構図、色彩を工夫することができたか。	32
12月	静物デッサン（講評・鑑賞） スクラッチアート（導入）	作品発表と鑑賞を通して、お互いの作品のよさや美しさを味わう。作者の意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。 スクラッチ表現に関心をもち、よさを感じ取る。	○制作時間を意識し、計画的に取り組むことができたか。 ○自分なりの表現の工夫がみられるか。 ○作品が提出日に完成しているか。 ○制作を振り返り学習を反復できたか。 ○他者の作品の良さに気付くことができたか。 ○主体的に取り組むことができたか。	24
1月	スクラッチアート（描画）	スクラッチ技法への理解を深め、感じ取ったことや自分の気持ちなどから自由に主題を生み出す。 主題をもとに、形や構図などの構想を練り、工夫して制作する。	○制作を振り返り学習を反復できたか。 ○他者の作品の良さに気付くことができたか。 ○主体的に取り組むことができたか。	16
2月	スクラッチアート（描画） スクラッチアート（仕上げ）	制作手順を考え見通しをもって取り組む。 創造活動の喜びを味わい、自分の意図に応じた表現方法を追求しながら独創的に表現する。 作品発表と鑑賞を通して、お互いの作品のよさや美しさを味わう。作者の意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。	○制作を振り返り学習を反復できたか。 ○他者の作品の良さに気付くことができたか。 ○主体的に取り組むことができたか。	24
3月	スクラッチアート（講評・鑑賞） まとめ	作品発表と鑑賞を通じて、お互いの作品のよさや美しさを味わう。作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。 美術を通して学んだこと、自分が出来るようになったことなど、1年間を振り返る。	○制作を振り返り学習を反復できたか。 ○他者の作品の良さに気付くことができたか。 ○主体的に取り組むことができたか。	24

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 芸術 ） 科目：（ 美術Ⅲ ）
 対象：（ 第 4 学年 A科～G科 選択クラス ）
 教科担当者：

単位数：（ 2 ）単位

使用教科書：（ 高校生の美術 2（日本文教出版） ）
 使用教材：（ 鉛筆、画用紙、木製パネル、スクラッチボード、ニードル、ケント紙、ミリペンなど ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 点描ポートレート（導入）	授業スケジュール、課題確認。「美術とは何か」美術の学びの意味や広がりについて考え、理解を深める。 点描技法について理解を深め、点描表現を通して、想像力・構成力・表現力を養う。 点描による明度スケール作成に取り組み、調子の幅を広げる。	○説明をよく聞くことができたか。 ○鉛筆の扱い方・明暗の段階の作り方を理解しているか。 ○主体的に取り組むことができたか。 ○提出物を出せたか。	16
5月	点描ポートレート（描画）	点描表現による人物画制作に取り組む。 人物の写真からイメージを広げ、背景のデザインを考えながら、構想を練る。 構図を決定し、写真をケント紙に転写する。 対象をよく観察しながら、形・陰影を点描技法によって描画する。 制作手順を考え見通しをもって取り組む。	○陰影・反射光・ハッチング技法を理解しているか。 ○基礎的な観察力・描画力を身に付けているか。 ○水張りの手順を理解しているか。 ○自分の意図を表現するために構図を工夫することができたか。	32
6月	点描ポートレート（仕上げ） 点描ポートレート（講評・鑑賞） 水張り	創造活動の喜びを味わい、自分の意図に応じた表現方法を追求しながら独創的に表現する。 作品発表と鑑賞を通じて、お互いの作品のよさや美しさを味わう。作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。 木製パネルに画用紙を水張りする。	○対象をよく観察し、描画しているか。 ○主体的に取り組むことができたか。 ○光の向き・陰影・反射光・質感を意識し描画しているか。 ○自分なりの表現の工夫がみられるか。 ○作品が提出日に完成しているか。 ○制作を振り返り学習を反復できたか。	32
7月	水張り 石膏デッサン又は静物デッサン（導入） デッサン（描画）	モチーフは選択式とし（石膏又は異素材を複数組み合わせた静物）、デッサンに取り組む。対象がもつ形・質感に関心を持ち、深く見つめ、感じ取った特徴や、自分の思いなどをもとに主題を生み出す。 対象の特徴や質感を捉え、配置や構図を工夫して表現する。	○他者の作品の良さに気付くことができたか。	24
8月			○説明をよく聞くことができたか。 ○石粉粘土の特性・制作手順を理解しているか。 ○対象をよく観察し、塑像しているか。 ○制作時間を意識し、計画的に取り組むことができたか。 ○対象の造形の特徴を捉えているか。	32
9月	デッサン（描画）	材料や用具の特性を生かし、陰影や質感の表現を自分なりに追求しながら心豊かに表現する。 制作手順を考え見通しをもって取り組む。	○対象の造形の特徴を捉えているか。	24
10月	デッサン（仕上げ） デッサン（講評・鑑賞）	細部を描き込み、より完成度の高い作品を目指す。 作品発表と鑑賞を通して、お互いの作品のよさや美しさに気付く。作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。	○アクリル絵の具の特性を理解しているか。 ○提出物を出せたか。 ○対象の色彩の特徴を捉えているか。 ○自分なりの表現の工夫がみられるか。	32
11月	自画像（導入） 自画像（構想）	「自分とは何か」自分を見つめ、自由な表現で自画像制作に取り組む。 自画像の特徴について理解し、自分と向き合いながら主題を生み出す。	○作品が提出日に完成しているか。 ○制作を振り返り学習を反復できたか。 ○他者の作品の良さに気付く、表現の工夫を感じ取ることができたか。 ○主体的に取り組むことができたか。	24
12月	自画像（制作）	主題をもとに、形や構図・表現方法などの構想を練り、工夫して制作する。 材料や用具の特性を生かし、自分なりに追求しながら心豊かに表現する。 制作手順を考え見通しをもって取り組む。	○説明をよく聞くことができたか。 ○色彩基礎を理解しているか。	16
1月	自画像（仕上げ） 自画像（撮影・レポート）	創造活動の喜びを味わい、自分の意図に応じた表現方法を追求しながら独創的に表現する。 完成した作品について、主題や感想などを文章にまとめ、撮影した作品写真と共にレポートする。	○提出物を出せたか。 ○丁寧に水張りできたか。 ○説明をよく聞くことができたか。 ○コラーージュ技法と手順を理解しているか。 ○自分の意図を表現するために構図、色彩を工夫することができたか。	24
2月	自画像（講評・鑑賞）	作品発表と鑑賞を通じて、お互いの作品のよさや美しさを味わう。作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。新しい自分や自分らしさを発見する。 「美術とは何か」「自分とは何か」考えたことや感じたことを基に、1年を振り返る。	○制作時間を意識し、計画的に取り組むことができたか。 ○自分なりの表現の工夫がみられるか。 ○作品が提出日に完成しているか。	24
3月	自画像（作品集）	全員の作品写真と作品についてのレポートをまとめ、美術Ⅲでの作品集を制作する。	○制作を振り返り学習を反復できたか。 ○他者の作品の良さに気付く、表現の意図や工夫を感じ取ることができたか。 ○主体的に取り組むことができたか。	24